

水の郷 ニュース

総合保健福祉センター

水の郷、水の郷くらぶ
☎ 75-6200、FAX75-6210
まほろばやまと ☎ 76-4833
サンブリッジ ☎ 73-6955

開館時間 午前9時～午後9時
※温泉は午前10時～午後8時
30分、入場は午後8時まで。
図書館分室は午前10時～午後6時。
すこやかルームは午前10時～午後9時
3月の休館日 月曜日



3月の水の郷シネマ 人類資金

旧日本軍の隠し財産、M資金を盗み出せ。世界経済を揺るがす禁断のマナーゲームがいま始まる。
◆日時 3月8日(土)、午前10時30分、午後1時30分、午後7時の3回
◆料金 前売り800円、当日1000円

第13回水の郷まつりは3月16日(日)、午前9時30分から開催 ～出会い・生きがい み～つけた!～



大江戸ジュリさんが和風マジックをお届け

今年の水の郷まつりは、水の郷文化サークル受講生による活動発表や作品展示などを開催。水の郷ホールイベントでは、大江戸ジュリさんによる和の小物を使った和風マジック「和妻」と笑いについての講話をお届けします。

◆和風マジック「和妻」と講話
◆時間・入場料 午後2時開演(開場は30分前)、中学生以上500円

市民劇団「くもで座」3月公演は「柳河国盗り物語」シリーズ完結編 柳河国盗り物語～宗茂再起への道～

市民劇団「くもで座」の3月公演は、関ヶ原の戦いを経て柳河城を開城し、流浪の身で京へ向かった立花宗茂が再び柳河の地へ戻るまでの物語です。平成20年から続く「柳河国盗り物語」シリーズの完結編をお見逃しなく。
◆日時 3月22日(土) = 午後4時

30分開演、3月23日(日) = 午後1時30分開演(開場はそれぞれ30分前)
◆会場 水の郷ホール
◆料金 一般1200円(前売り1000円)、中学生以下500円、親子ペア(子どもは中学生以下)1200円

市民吹奏楽団による演奏会を開催 やなすいスプリング コンサート in 水の郷

◆日時 3月30日(日)、午後1時～
◆会場 水の郷1階エントランス、見学無料

柳川温泉「南風」イベント 3月のイベントはお休みします。

3月のホールイベント

◆柳川文化協会カラオケ春風カラオケ発表会 2日(日)、午前9時30分～、見学無料

新着図書

ホワイ
「Why? スポーツのなぜ」まんが科学百科
チヨ・ヨンソン 著、イ・ヨンホ 絵(学研)



韓国でシリーズ累計3000万部を誇る科学学習マンガの翻訳版。サッカー、野球、陸上などスポーツの科学をマンガで楽しく解説します。スポーツの上達を目指す子どもたちにおすすめの1冊。

The エッグベネディクト&フレンチトーストレシピ



藤沢 セリカ 著(河出書房新社)
おしゃれなランチとして今大注目のエッグベネディクトとフレンチトーストのレシピ集。初めて作る人でも分かるように、豊富に写真を使って、必要な道具や材料などから丁寧に解説します。

カラダおいしいスープジャーレシピ



ももせいづみ 著(タツミムック)
大人気のスープジャーレシピシリーズの最新作。スープジャーに乾物を入れてお湯を注ぐだけで、おいしいスープやドリンクが完成。忙しく頑張っている人たちにおすすめのレシピ本です。

あめんぼ公演会を開催 親子で楽しむ人形劇



人形劇「ねずみの嫁入り」

今回のあめんぼ公演会は、人形劇団「どんぐり座」による人形劇です。親子一緒にお楽しみください。
◆日時 3月22日(土)、午後3時～
◆会場 あめんぼセンター2階AVホール
◆内容 「ぶたのタネ」「ねずみの嫁入り」「ボードビル(海の中の小さな仲間たち)」
◆定員 先着100人、入場無料

資料整理の特別休館日

図書館は、2月27日(木)から3月9日(日)まで全館休館します。

本館の3月無料映画会

3月15日(土)、午前11時～=名画劇場「ベスト・キッド」(140分)、午後3時～=子ども映画「ふるさと再生 日本の昔ばなし」(69分)

図書館 ニュース

本館 ☎ 74-4111、FAX74-4946
三橋図書館 ☎ 74-6300
雲龍図書館 ☎ 76-1122
両開分館 ☎ 74-4116
昭代分館 ☎ 74-5111
蒲池分館 ☎ 74-6200
水の郷分室 ☎ 75-6204

開館時間 午前10時～午後6時
※平日の火～金曜日は本館のみ午後8時まで開館。三橋図書館は金曜日のみ午後8時まで開館
3月の休館日 月曜日(三橋図書館は火曜日)

おはなし会(小学生以下)

▶本館=毎週土曜(第4土曜は赤ちゃんおはなし会)、午後2時30分～▶三橋図書館=第2、4土曜、午後3時～▶雲龍図書館=第2土曜、午前10時30分～▶両開分館=第2土曜、午前11時～▶昭代分館=第1、3土曜、午前11時～▶蒲池分館=第2、4土曜、午前11時～

柳川百選まち歩き 第59回

市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募の中から「柳川百選」として選びました。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しませんか。

粕漬け



貝柱やウミタケの粕漬けは、柳川を代表する特産品です。粕漬けは全国各地にあります。酒粕も一緒に食べる柳川の粕漬けは、全国でもとても珍しいものです。

柳川が面する有明海は魚介類の宝庫。また、おいしい米が採れ、水が豊富にある筑後地方は、古くから酒造りが盛んでした。この酒造りの過程で生まれる酒粕を使って、有明海の魚介類のおいしい保存食を作れないかと先人が考え出したのが柳川の粕漬けです。こうして生まれた粕漬けは、江戸時代後半からよく食べられていました。大正12(1923)年、海部福瑞さんが柳川で初めて貝柱の粕漬けの製造販売を開始。現在では、観光客はもちろん柳川を離れた人が古里の味として全国から買い求める逸品です。粕漬けが市のブランド認定品となっている水産堂の海部達也社長は「粕漬けは日本酒や焼酎のおつまみにぴったり。あつあつのご飯に乗せて食べてもおいしいですよ」とおすすめの食べ方を教えてくれました。

柳川まり



母から娘へと柳川の女性に受け継がれてきた柳川まりは、江戸時代に藩主の身の回りの世話をする女性たちが作り始め、それが城下町の女性に広まったといわれています。柳川まりは柳川の雛節句に欠かせない縁起物。赤やピンクなど明るく華やかな色が多いのが特徴です。大きさは、直径数cmのものから20cmを超えるものまでさまざま。模様も多彩で菊や椿、花しょうぶなど女の子が好きな花模様を中心です。また、子どもが遊びやすいようにとできるだけ軽く作られています。戦争によって作り手が途絶えかけた柳川まり。それを惜しんだ北島妙さん(下宮永町、90歳)は、昭和36年に自ら会長となり、「柳川まり保存会」を発足。現在、北島さんの息子の妻、利恵子さんが中心となって、柳川まりの普及に努めています。利恵子さんは、「全国の城下町に伝わるまりの中でも、柳川のまりはとても華やか。柳川が育んだ素晴らしい文化を、多くの人に伝えたい」とその思いを語りました。



北島利恵子さんが多彩な模様のまり作りを教えている柳川まり保存会

「柳川百選」は市企画課で配布。市公式サイトでもダウンロード可。問い合わせは、同課(☎77・8423)へ。